

# RYUKYU PAA

## Service Workshop

*For RYUKYU PAA 2025*

*20/Aug/2025*



共同体の中のAA 36の霊的原則(トライアングル)に含まれるもの

AA三つのレガシー(遺産)



- ステップ ⇒ 個人の責任
- 伝統 ⇒ 共同体での責任
- 概念 ⇒ 社会の中での責任



ステップ (回復)	伝統 (一体性)	概念(サービス)
1. Honesty (誠実)	Unity (一体性)	Responsibility (責任)
2. Hope (希望)	Direction (方向性)	Delegation (代表)
3. Faith (信仰)	Self Identity (自己認識)	Trust (信頼)
4. Courage (勇気)	Autonomy (自主性)	Participation (関与)
5. Truth (真実)	Purpose (目的性)	Open Mindedness (寛容)
6. Willingness (意欲)	Simplicity (単一性)	Accountability (責務)
7. Humility (謙遜)	Self-Supporting (自立性)	Balance (調和)
8. Reflection (内省)	Equality (平等性)	Perspective (観点)
9. Amendment (修正)	Flexibility (柔軟性)	Vision (展望)
10. Perseverance (根気)	Purity (純潔性)	Clarity (明瞭)
11. Awareness (自覚)	Transparency (透明性)	Coordination (整合)
12. Service (奉仕)	Anonymity (無名性)	Effectiveness (効力)

## なぜコンベンションを開くのか

グループを超えたAAの集まりは、AAの生き方の中にすっかり定着してる。GSO 発行のニューズレター『Box 4-5-9』や『グレープバイン』(アメリカ/カナダAAの月刊誌)のウェブサイトにあるイベントカレンダーには、AAで開催されるコンベンションや会議、ラウンドアップがいくつも掲載されている。

参加者が行ってよかったと思えるAAコンベンションには、どのような特徴があるのだろうか。おそらくそれは、スタイルや形式よりも、背後にある熱意や配慮によるものだろう。あるメンバーが言うように、AAにおける最高のコンベンションとは、「質のいいAAミーティングの規模を大きくしただけ」のものだ。どこのAAコンベンションであれ、熱気にあふれたメンバーを目にすれば、その意味が分かるだろう。雰囲気味わうだけでも、遠くまで出かけて行く価値がある。そこであなたは、笑い、ぬくもり、理解、そして仲間意識に圧倒されるだろう。

- ・心に残ったコンベンションはありますか？
- ・コンベンションの何が役に立ちましたか？
- ・コンベンションでしか得られないものは何ですか？

\*注: 普段のミーティングにないもの



## コンベンションのプログラムをすばらしいものにするには①

あるメンバーは、プログラムがもっとも重要なわけではないと述べた。彼は、新しい出会いや懐かしい仲間との再会によって得られるよろこびや、共通の目的のために共に活動すること、そして、経験と力と希望を分かち合えることに価値があるのだと語った。

とはいえ、プログラムに創意工夫や心動かされるものがなかった場合、コンベンションから帰るときにがっかりすることもあるという。そうならないためには、コンベンションの前から慎重に考えておく必要がある。バランスのいいプログラムとはどういうものか、以下に挙げる。

### 1. コンベンションのテーマ

多くの場合、プログラム全体を一つのシンプルなテーマでまとめるほうが計画を立てやすい。その場合、「一体性」「信じるようになった」「第一のことは第一に」といったAAでよく使われるテーマが選ばれる。プログラム全体がこのテーマに影響を受ける必要はないが、アルコールクス・アノニマスの共通の目的のもとにAAコンベンションがあるのだということを、思い起こさせてくれる。イベントによっては、その年の評議会のテーマを採用することもある。



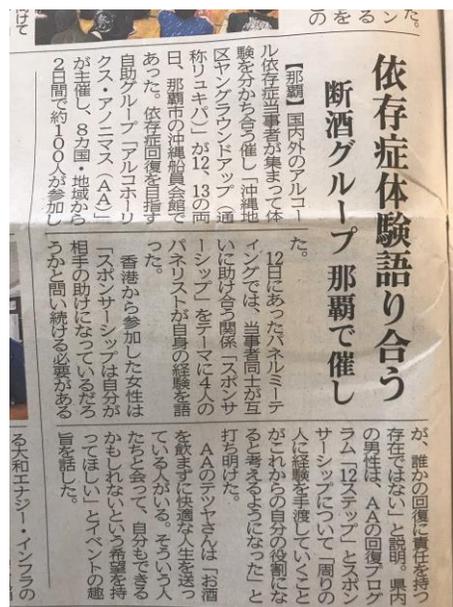
参考：2017年“Finding Reason to believe” 今日を新たにか  
2018年“There is a solution” ビックブック第2章  
2019年“Life will take on new meaning”ビックブック第7章

## コンベンションのプログラムをすばらしいものにするには②

### 3. パネルセッション

多くのプログラムチェアパーソンが、オープンミーティングのプログラムに偏りが出ないように、ワークショップやパネルセッションを取り入れている。

ワークショップやパネルセッションにはさまざまな形式があるが、パネルについては、スピーカー3名とチェアパーソン1名で構成することが多いようだ。それぞれのスピーカーにはテーマと時間配分が決まっている。時間が許すなら、質疑応答の時間を設けてもよいだろう。



過去パネルテーマ  
2018年 ソーバーライフ“仕事”  
“恋愛・パートナーシップ”等

2019年“ステップの経験”  
“スポンサーシップ”  
“様々な地域から”

## コンベンションのプログラムをすばらしいものにするには③

ワークショップやパネルセッションに適したテーマを以下に挙げる。

矯正施設、治療施設、広報、専門家協力、スポンサーシップ、AAにおける安全性、サービス、代議員、12 の伝統、12 の概念、インターグループとセントラルオフィス、『グレープバイン誌』、アクセシビリティ

(AAの出版物から選んだフレーズをテーマとして採用するプログラム委員会もある)

プログラムを計画する際、特に、パネルセッションについては、「バランス」と「フロー」という2つの言葉がキーワードになる。話があちこちに飛ぶことなく、一連の流れを保ちながらスムーズに進んでいくことが重要である。同時に、パネルセッションのテーマとパネリストのバランスも大切だ。一つの話題では飽きでしまうだろうし、スピーカーが特定の地域に偏ることや、パネリストたちが同じような経験や価値観ばかりではバランスを欠いてしまう。

- ・コンベンションに参加するとき何を期待しますか？
- ・コンベンションに参加してがっかりしたことはありますか？
- ・コンベンションのサービスに関わりたいと思いますか？

RYUKIPAA タイムテーブル	
10/12(土)	10/13(日)
10:30~12:00 パネルミーティング テーマ: Experience of Step work(ステップの経験) チェア: Tracy B. (Okinawa) パネリスト: Shelby E.(Tokyo) Cory M. (Okinawa) Eric (Singapore) 通訳: Takashi I. (Tokyo), Wada (Tokyo)	08:15~09:15 モーニングミーティング Presented by 2015 AZYPAA committee  テーマ: 人生は新たな意味を持ち始める チェア: Tetsuya U., Rihito H., Takayuki Y. 通訳: Fumihide K., Wada
13:30~15:00 パネルミーティング テーマ: Sponsorship(スポンサーシップ) チェア: Matt B. (Okinawa) パネリスト: Ron F. (Kanagawa) Elly Z. (Hong Kong) Kentaro O. (Okinawa) 通訳: Fumihide K. (Tokyo), Shu K. (Okinawa)	09:30~11:00 Yoga & Meditation チェア: Dallas T. (CA, USA) 通訳: Shu K.  11:00~12:00 メインスピーカーミーティング チェア: Doug G. スピーカー: Dallas T. (CA, USA) 通訳: Doug G.
15:30~16:30 スピーカーミーティング テーマ: A great experience of service in AA (AAにおけるサービスでの素晴らしい体験) チェア: Hiroyuki K. (Tokyo) スピーカー: Doug G. (Kanagawa) 通訳: Doug G.	
16:30~17:30 様々な地域から From various regions (飯)  チェア: Rihito H. (Okinawa) 通訳: Shu k., Wada	
18:30~19:30 ソーバーカウンタダウン チェア: Fumi, Tsune (Okinawa)	
19:30~20:30 メインスピーカーミーティング チェア: Tetsuya U. (Okinawa) スピーカー: Mr. Xu (Dalian China) 通訳: Elly Z., Takashi	

2019年タイムテーブル

# Summary(まとめ)

メッセージを運ぶというわれわれの12番目のステップは、AAのフェロシップ（共同体）が行う基本的なサービスである。これこそが、我々の存在する主な理由であり、最重要目的である。だからAAは単なる一連の原理以上のものである。つまりAAはアルコールクが実際に活動を続ける集合体なのである。われわれはメッセージを運ばなければならない。さもないとわれわれ自身が衰退し、審理を伝えられなかった人々は死ぬかもしれないのである。したがってAAのサービスとは、我々が今苦しんでいる仲間の手を伸ばす橋渡しになるものすべてを指す—12番目のステップ（メッセージを運ぶこと）そのものから、10セントで電話のダイヤルを回すこと、1杯のコーヒー、ひいては全国的、国際的規模で活動を続けるワールド・サービス・オフィスにいたるまで—。これらあらゆる分野でのサービスの総体が、「サービスというAAのレガシー（遺産）」と呼ばれるものである。

引用：The Language of the heart  
“What Is the Third Legacy?” p.160

